

# 生産性向上支援訓練実施事例

## メルコアドバンストデバイス株式会社 様

### 《利用事業主情報》

【所在地】長崎県諫早市

【事業内容】「高周波デバイス」「光デバイス」  
「赤外線センサ」の製造（組立・検査）及び組立・  
検査技術の開発

【従業員数】321人（2022年4月1日時点）

### 【受講コース】

- ・効果的なOJTを実施するための指導法  
令和4年2月（受講人数18人）
- ・企画力向上のための論理的思考法  
令和4年9月（受講人数22人）

## 利用事業主の声

当社は、「高周波デバイス」「光デバイス」「赤外線センサ」の製造（組立・検査）及び組立・検査技術の開発を担う三菱電機グループの会社です。生産性向上や人材育成には力を入れており、特に従業員のキャリアアップについては、三菱電機株式会社が主催する階層別・職能別研修への参加や、社内では専門知識を保有する者が講師となり実施する研修、その他課題やニーズに合わせた目的別研修をOFF-JTにて行っています。



### 「(オンライン) 効果的なOJTを実施するための指導法」

人材育成の重要性が増す中、育成の核となるOJT教育は属人的になりやすく教育担当者による質のバラつきを懸念していました。初めて担当者となる従業員も多く、具体的に何を以てどのように教育を実施することが必要であるか、教育担当者に対し知識等の一定の平準化を図ることを目的に研修を社内で企画していました。

そのような中、ポリテクセンター長崎から提案を受けていた生産性向上支援訓練で、検討していた内容のカリキュラムコースがあったことから、費用対効果も後押しとなり、訓練の実施に至りました。

訓練後は、教育担当者への知識付与とともに、会社全体として、新人に対する教育は担当者だけに任せるものでなく職場全体で行うことを再確認し、受入れ職場に対する社内研修を実施しました。その結果、担当者以外の他の同僚も他人事でなく、自分の役割として積極的に受け入れる職場風土作りに繋がりました。

事前に実施機関と打ち合わせをする事で、当社の目的を共有し様々な要望や受講者レベルに合わせてカリキュラムをカスタマイズすることができました。

また、ただ座学をするだけでなく、実践に則したグループワークを多く取り入れることができ、教育を担当する受講者間同士の横断的なコミュニケーションの活性化にもつながったように感じます。

### 「企画力向上のための論理的思考法」

業務の様々な場面において効率的なコミュニケーションが大事で、論理的思考（内容や情報を整理し、自身で意見や結論をまとめ、相手にわかりやすく伝えること）が不可欠であると考えております。そのためにコミュニケーション能力や仕事を円滑に進めるスキルを社員に習得できる研修を計画しま

した。過去の開催では、論理的にアウトプットする難しさを感じる受講者もいたため、知識を得るだけでなく実践に繋がる研修を要望しました。また、前年度はオンライン方式で実施しましたが、今年度は対面による訓練で実施しました。

訓練後は、仕事を円滑に進めるスキルを身につけ、上司への伝達方法がスムーズになっているようにみえます。コミュニケーション能力も上がっており、受講者の意識づけがしっかりできているようです。

また、訓練の効果を確認するために、学んだこと・今後への活用・要望事項などの受講者アンケートを独自でとっており、受講者の反応を分析して、今後の社内研修の計画等に活かしております。

今後は、社員が自身の業務を効率化するために、マクロ等で一定水準のものを構築できるようになるための「IT業務改善の表計算ソフト活用」のコースや、「組織力強化のための管理」のコースも受講予定であります。

## 受講者の声

「(オンライン) 効果的な OJT を実施するための指導法」

・新人教育における、柔軟な対応・考え方について深く理解することが出来ました。同じ「新人」であっても時代の背景や育った環境の違いで変化しているため自分の経験・時代を基準として判断・行動しないことや、相手の育った環境、個性に配慮して人材育成・指導をしていく必要があります。

そのためにコミュニケーションをとりながら観察し、相手の変化に気づき褒めること、叱ることが大事である事が分かりました。実際の指導では、目標を設定する際に 6W2H で伝え、判定方法は誰でも分かり易い指標を使い明確にすることが必要だとわかりましたが、OJT の下準備をして誰でもわかりやすい指標を作成して、今後教育していきたいと思います。



「企画力向上のための論理的思考法」

・今までは、報告の際など自分の中ではわかっていると感じていても、上手く伝えられなかったり、結論をまとめられない事があつたりしました。情報を伝える際は自分の考えを整理し、自分だけわかるのではなく相手に納得・理解してもらえるよう結論を出し、わかりやすく伝える事が出来るようにしていきたいと思います。また、話す時は結論が見えない、いつ終わるかわからないなど、相手のストレスにならずに話す事が出来るように、今回受講して得た事を活用していきたいです。

・仕事で改善したい案件(改善提案)等が出た際に、その改善したい内容を自分のみが理解するのではなく、受け取り側に分かりやすく納得してもらえるように、改善提案の根拠と結論を正しくつなげて伝えていけるようにしたいです。同一作業をする作業員にも意見を聞いて、コミュニケーションを取りながら新たな対策がないかどうかも見定めていけるよう、心掛けたいです。

・他者に伝達するときは、相手側によって受け取り方が違うので、正確に伝えるには自分の情報を整理して、結論を出し、わかりやすく伝えるようにすることが重要だと学びました。

研修で学んだ手法を使って、打合せや会議などの意見討議や他者への報告を円滑に進めることに役立てたいです。